

2018年度（平成30年度）事業報告

2019年4月24日
九州経済国際化推進機構



【総括】

- 平成30年度は、「企業の海外展開促進」、「外国人材の獲得・活用」、「対日投資」の3つの目標を掲げ、九州経済国際化推進機構（以下、「機構」）構成機関各位の協力のもと、着実に事業を実施。
- 特に、「3.経済交流（ベトナム等アセアン地域との交流事業）」においては、会員の高い関心や相手国からの要請をもとに、当初計画から拡充して取り組み、次年度事業に繋がるものとなった。

■事業分野別の主な取組

1.国際化戦略等の企画・立案

- ・機構とのMOUが未締結であり、今後の経済成長が期待されるフィリピンに対し、在京関係機関や九州企業へのニーズ調査、現地での投資環境調査、現地政府機関等との事前協議を実施。この結果、2019年度にミッション団を派遣、経済交流の促進のためのMOUを締結し、現地政府機関及び民間経済団体・業界団体とのネットワーク構築を図る。

2.情報創造・発信

- ・ウェブサイトやメールマガジン、広報資料を活用してセミナーや助成事業の募集情報等の企業の海外展開に資する情報のタイムリーな発信を行うとともに、九州のビジネス環境に関するPR媒体として、「PROFILE OF KYUSHU」を更新。

3.経済交流

- ・現地当局や九州各地が着目している台湾やアセアンとの交流事業を積極的に展開。とりわけ、ベトナムとの交流事業については、九州農業成長産業化連携協議会と連携した農業ミッションの派遣、現地政府や自治体を九州に招聘してのセミナーを開催。
- ・日EU・EPAの発効を契機としたEU向けの九州産品（酒類）の販路開拓支援事業は、会員をはじめ国税局や民間団体の参画を得て、共催事業として実施。

4.人材交流

- ・マッチングサイト「Work in Kyushu」の活用による就職・採用の促進を図るため、留学生向けに同サイト活用による自己PRスキル向上のためのセミナーを開催。

5.投資促進

- ・対日投資可能性調査事業は、高級ホテル等インバウンド受入環境をターゲットとし、誘致にあたってのポイント等をセミナーにより提供。九州プロモーション事業は、「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会in福岡」（国内外から約13万人来場）との同時開催により、事業効果を高めて実施。

1.国際化戦略等の企画・立案

- ◆フィリピンとの産業交流可能性調査 【1月21日～26日 マニラ】

2.情報創造・発信<九州地域の情報発信>

- ◆ウェブサイトによる情報発信
- ◆広報資料による情報発信

3.経済交流<九州と海外との経済交流>

(1)アジア地域との経済・産業交流事業

①環黄海地域、中国および韓国との経済交流事業

- ◆第17回環黄海経済・技術交流会議 【11月19日～21日、韓国・全羅北道群山市】
- ◆第25回九州(日本)・韓国経済交流会議 【上記と同期間・地域にて開催】

②台湾、アセアンとの経済交流事業

- ◆九州・台湾経済交流ミッション2018 【8月29日～31日、台北市、新竹市】
- ◆ベトナム投資環境フォーラムin九州 【9月10日、福岡市】
- ◆ベトナム4省によるPRセミナー 【11月5日、福岡市】
- ◆九州・ベトナム農業ミッション2018 【12月2日～8日、ダラット・ハノイ・モクチャウ】
- ◆ダナン市投資促進セミナーin九州 【2月27日、福岡市】
- ◆ミャンマー・ヤンゴンビジネスセミナー 【9月6日、福岡市】
- ◆フィリピンビジネスセミナー 【3月1日、福岡市】

(2)海外ビジネス・経済情報提供事業

- ◆海外展開支援施策説明会&無料相談会 【7～9月、2月、九州7県】
- ◆九州・アメリカ起業家セミナー2018 【6月18日～20日、長崎市・佐賀市・飯塚市】

(3)海外販路開拓支援事業

- ◆九州フェア 【7月2日、フランス・パリ市】
- ◆EUマンス、バイヤー招聘等支援事業 【1月19日～20日、3月16日～18日、福岡県、大分県、佐賀県】

4.人材交流<外国人材の確保、留学生の活用>

- ◆Work in Kyushu支援事業 【12～1月、福岡県、宮崎県】

5.投資促進<インバウンド・外国企業誘致>

- ◆外資系高級ホテル誘致セミナー 【8月23日、福岡市】
- ◆九州プロモーション事業 (COUNTDOWN SHOWCASE in 九州) 【11月2日～4日、福岡市】

平成30年度事業 スケジュール

● 国内 ■ 海外

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 国際課戦略の企画・立案						● 在京フィリピン関係機関調査(7月 @東京)			九州企業向けアンケート調査、フィリピン展開事例ヒアリング等		■ フィリピン現地調査、次年度事業の事前協議 (1月 @フィリピン)	● フィリピンビジネスセミナー(3月@福岡)	
2. 情報創造・発信	← ウェブサイト、広報資料による情報発信(通年) →												
3. 経済交流													
韓国						■ 環黄海・九韓会議事前協議(6月 @韓国)				■ 第25回九州・韓国経済交流会議(11月 @韓国)		■ 環黄海・九韓会議FU協議(3月 @ソウル、北京)	
中国										■ 第17回環黄海経済・技術交流会議(11月 @韓国)			
台湾						■ 台湾経済交流事業事前協議(6月 @台北)		■ 九州・台湾経済交流ミッション(8月 @台北、新竹)					
ベトナム						■ ベトナム招聘事業事前協議(6月 @ハノイ、ホーチミン)		● ベトナム投資環境フォーラムin九州(9月 @福岡)		■ 九州・ベトナム農業ビジネスミッション(12月 @ダラット・ハノイ・モクチャウ)		● ベトナム4省PRセミナー(11月 @福岡)	● ダナン市投資促進セミナー(2月 @福岡)
ミャンマー								● ミャンマー・ヤンゴンビジネスセミナー(9月 @福岡)				● ミャンマー投資フォーラムin九州(2月 @福岡)	
海外ビジネス・経済情報提供						● 九州・アメリカ起業家セミナー(6/18~20 @長崎、佐賀、飯塚)		● 施策説明会(7~9月 @久留米、大分、鹿児島、宮崎、熊本)				● 施策説明会(2月 @福岡、佐賀、長崎)	
海外販路開拓支援事業						■ 九州フェア(7月 @パリ)						● EUマンス、バイヤー招聘等支援事業(1月、3月 @福岡、大分ほか)	
4. 人材交流												● 自己PRセミナー(Work in Kyushu支援事業)(12~1月 @福岡、宮崎)	
5. 投資促進							● 外資系高級ホテル誘致セミナー(8月 @福岡)					● 九州プロモーション事業(11月 @福岡)	
6. その他 企画・運営	● 幹事会	● 総会						← 会員アンケート →	● 幹事会	← 次年度事業についての構成機関等との事前調整 →		● 意見交換	

1.国際化戦略等の企画・立案

(新規MOU締結を見据えた) フィリピンとの産業交流可能性調査 《新規》

■ 成長性豊かなフィリピン経済

- フィリピンは、1億人を超える人口を擁する消費市場であり、若年労働人口が豊富、周辺国に比べ賃金上昇率が低く、高い英語力を有する人材が多い。
- 2012年以降のGDP成長率は6%以上を堅持しており、2018年、フィリピン政府は、大規模なインフラ整備計画に伴う支出が増えるなどとして、継続して高い成長を見込んでいるところ。今後さらなる外資の受入れ規制緩和や大幅な税制改革など、多方面の政策的取り組みの効果も期待される。

人口：約1億98万人
名目GDP：3,140億ドル
九州からの輸出：741億円
比からの輸入：1,175億円
公用語：フィリピン語、英語

■ 2018年度における九州経済国際化推進機構の取り組み

- 2018年度上期、引き続き高い経済成長が期待されているフィリピンと九州との産業交流の可能性について、九州企業へアンケート・ヒアリング調査を実施。
- 回答企業の半数以上がフィリピンビジネスに興味あり。
現地展開希望の事業分野は製造業、卸・小売、飲食・サービスの順に多い。
展開ニーズを有する企業は、市場の成長性を見込む理由が最多。ただし、現地情報の不足、ビジネスパートナー発掘の困難さを問題視する声も多い。
- H31.1.21~26、フィリピン現地において、本年7月のミッション団派遣、MOUの締結に係る調整、投資環境調査等事前協議を実施するとともに、官民のネットワーク構築を図った。



■ 具体的な取り組み

○フィリピン経済交流ミッション事前協議 (2019.1.21~26)

- 調査先
JETROマニラ、DTI (貿易産業省)、BOI (投資委員会)、PEZA (経済特区庁)、現地工業団地、日本人商工会議所、フィリピン商工会議所 ほか
- 内容
・フィリピンの投資環境に係る情報収集
・DTI・BOI・PEZAとのMOU締結のための事前協議
・フィリピン企業及び日本企業・人材育成機関、各業界団体・支援機関等訪問候補先、ビジネス相談・マッチング候補等の調整を実施。

○「フィリピンビジネスセミナー」 (福岡市：2019.3.1)

- ・現地展開ニーズの高い事業分野におけるフィリピンとのビジネスに関して、法制や金融面の紹介も含めたセミナーを開催。
- ・同時に、参加企業のフィリピンとの貿易・投資に関するニーズについてアンケート・ヒアリングなどを行い、新たな案件の掘り起こし。
- 【講演者】
・在日フィリピン大使館貿易投資部
・みずほ銀行、西村あさひ法律事務所
・住友商事、正興ITソリューション フィリピン ほか

○「フィリピン経済交流ミッション」

- 日程 **2019年7月15日~19日**
- 主催 九州経済国際化推進機構
- 内容 **7/16** 貿易産業省とのMOU締結
7/17 現地工業団地視察
7/18 ビジネス相談会 ほか
- 構成 団 長：九州経済連合会会長
顧 問：九州経済産業局長
構成員：企業、支援機関、自治体 など40名程度



フィリピン経済交流ミッション事前協議

- **日程** 2019年1月21日～26日
- **訪問地** フィリピン共和国 メトロマニラ
- **参加者** 九州経済連合会 平井常務、安藤国際部長、中林国際部課長
九州経済産業局 渡部国際部長、羽田野国際企画調査課課長補佐、副島国際課係員
- **目的** 1)DTI・BOI・PEZAとのMOU締結のための事前協議 2)日本国大使館ほかミッション団派遣に係る調整
3)MOU締結以降のマッチング候補調査・協力依頼 4)フィリピンの投資環境に係る情報収集

訪問先と概要

1) DTI・BOI・PEZAとのMOU締結のための事前協議

MOU締結及び条文について協議。
本年7月ミッション時におけるMOU締結及び今後の協力関係の構築について合意。

【対応者】

- 貿易産業省 (DTI) ロドルフォ次官
- 貿易投資委員会 (BOI) バルバ次官
- 経済特区庁 (PEZA) エルママネージャー
- 在京比大貿易投資部 デイタ参事官

2) 日本国大使館ほかミッション団派遣に係る調整

- ①在フィリピン日本国大使館との協議
- ②ミッション団派遣プログラム等に係る協議
ミッション団大使館表敬訪問に係る調整及びMOU締結式・交流会、日系支援機関との意見交換会・交流会への参加依頼

3) MOU締結後以降のマッチング候補調査・協力依頼

以下の各機関との間で、MOU締結後におけるビジネスマッチングに関し意見交換。マッチング参加企業募集等実施への協力依頼。

■各経済団体等

- 比日経済委員会 (PHILJEC)
【対応者】サルード会長、サンヴィクトレス次期会長、ソリアーノ事務総長
- フィリピン商工会議所連盟 (PCCI)
【対応者】フリアネッツア事務総長、アモレス中小企業委員会議長

■各業界団体等

- 自動車工業会 (CAMPI)
【対応者】グティエレス会長
- 半導体・電子工業会 (SEIPI)
【対応者】ラチカ会長
- フランチャイズ協会協会 (PFA)
【対応者】クリストファー・リム理事
- RusTan's SUPER MARKET (卸・小売)
【対応者】フェルナンデス副社長など

4) フィリピンの投資環境に係る情報収集

現地経済概況・特徴、日系企業進出状況、各規制の状況等情報収集

①現地日系支援機関のサポート分野及び内容

- JETROマニラ事務所
【対応者】石原所長
- フィリピン日本人商工会議所 (JCCIPJ)
【対応者】藤井副会長、杉浦事務局長
- クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド (不動産)
【対応者】カストロ事務総長
- みずほ銀行マニラ支店
【対応者】河野副支店長

②工業団地及び日系入居企業、人材育成機関における人材育成の状況

- 住友商事 (ファーストフィリピン工業団地)
- リョーユーパン
- ツカサ電工
- EMS (電気機械製造及び人材育成機関)

2.情報創造・発信

◆ウェブサイト、広報資料による情報発信

■ 九州経済国際化推進機構ウェブサイト

URL <http://www.kyushu-kei.org/>



- 九州において活用可能な各種展示・商談会、セミナー等のイベント情報、補助事業等の公募情報など、九州企業及び関係支援機関の海外展開支援や普及啓発に資する情報を随時発信中。

■ PROFILE OF KYUSHU



- 九州の経済規模、主要産業、交通インフラ、成長戦略等の概況を説明する資料として4か国語（日、英、中、韓）で作成し、毎年度改訂。
- 今年度は、海外ビジネスに関心の高い九州企業をまとめた「九州企業マップ」をコンテンツとして取り入れ、今後、海外ミッションや海外からの来客に九州のPRツールとして活用。

■ メールマガジン「海外ビジネスサポート通信」



- 管内自治体、JETROや中小企業基盤整備機構など関係機関との協力のもと、海外展開に係るイベントや支援施策の情報を提供。原則週一回配信。
- 受信登録者数 1,828 名
(2019年3月末現在)

■ 海外ビジネスサポートブック



- 企業の海外展開を支援するため、国や自治体、関係機関の相談窓口や海外ビジネス支援制度等をまとめた「2018海外ビジネスサポートブック九州版」を作成（平成30年4月改訂）
- 発行部数：3,000部

3. 經濟交流

九州とアジア等との経済交流 – MOU締結地域等 –

国・地域	締結先	締結時期	九州側
ベトナム	・ベトナム計画投資省 (MPI)	2009年 2月	機 構
香 港	・香港中華総商会 (CGCC) ・香港貿易発展局 (HKTDC)	2011年 11月 2012年 8月	九経連 九経連
台 湾	・中華民国工商協進会 (CNAIC)	2012年 6月	九経連
インドネシア [†]	・インドネシア共和国投資調整庁 (BKPM)	2012年 11月	機 構
タ イ	・タイ投資委員会 (BOI)	2012年 11月	機 構
ミャンマー	・ミャンマー商工会議所連盟 (UMFCCI)	2013年 2月	九経連
シンガポール	・シンガポールビジネス連盟 (SBF)	2013年 7月	九経連
インド	・インド商工会議所連合会 (FICCI)	2014年 6月	九経連
中 国	・新滬商連合会 (SEA) ・山東省商務庁(DCSP)★ ・山東省威海市人民政府 (WMPG)★	2014年 9月 2018年 6月 2018年 6月	九経連
マレーシア	・マレーシア投資開発庁 (MIDA)	2015年 11月	機 構

★ 食品流通での相互協力を特化したMOU（九経連での窓口は農林水産部）

† インドネシア商工会議所(KADIN)については、2012年11月締結時に定めた3年間の有効期限が満了

国・地域	締結先	締結時期	九州側
韓国	・韓国産業団地公団	2007年11月	九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (※2016 (H28) 年6月21日に名称変更) 九州環境エネルギー産業推進機構
中国	・大連市政府 ・山東省政府	2009年2月 2010年7月	
マレーシア	・マラッカグリーンテクノロジーコーポレーション (MGTC) ・イスカンダル・マレーシア商工会議所	2013年10月 2016年8月	
フランス	・FC2 イノベーションフレンチフードクラスター (FC2) ・ブルーブランクール協会 (BBC)	2010年9月 2013年10月	九州地域バイオクラスター推進協議会
ベトナム	・ホーチミン半導体協会 (HSIA)	2013年11月	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会

(1)アジア地域との経済・産業交流事業

①環黄海地域、中国および韓国との経済交流事業

●中国、韓国の中央政府や経済団体と協力し、環黄海圏等の産業・技術交流や経済交流を図るため各会議を開催。

九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、九州経済連合会が有する国際交流スキーム

環黄海経済・技術交流会議
(平成13年～毎年持回り開催) 過去16回開催
【構成】 ◇中国：商務部、自治体、大学等 ◇韓国：産業通商資源部、経済団体、自治体、大学等 ◇九州：九経連、九州経済局、自治体、経済団体、大学等 【内容】 ビジネスフォーラム、本会議、三国局長会議等

九州・韓国経済交流会議
(平成5年～毎年交互開催) 過去24回開催
【構成】 ◇韓国：産業通商資源部、韓日経済協会、自治体等 ◇九州：九州経済局、九経連、自治体等 【内容】 ○二国間協議方式による大局的議論、商談会等

九州・中国産業技術協議会
(平成3年～開催) 過去13回開催
【構成】 ◇中国：科学技術部、科学技術交流中心等 ◇九州：九経連、九州経済局、自治体、経済団体等 【内容】 ○テーマを設定した科学技術フォーラム、交流会等

**【平成30年】
第17回 環黄海経済・技術交流会議**

韓国 (全羅北道群山市)

**【平成30年】
第25回 九州・韓国経済交流会議**

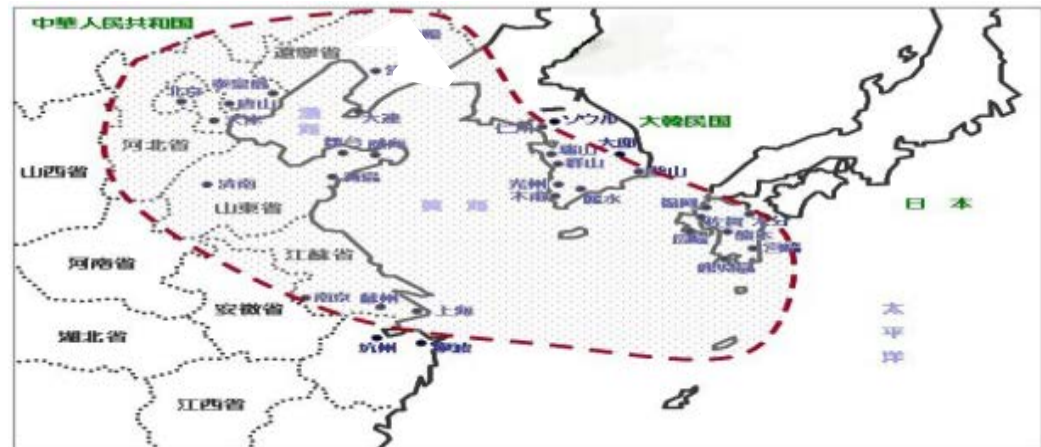
韓国 (全羅北道群山市)

第14回 九州・中国産業技術協議会

休止中

*** 環黄海地域：**
黄海を取り巻く地域経済エリア。同地域の人口は約4億人（全世界の約6%）。GDPは全世界の約5%に達し、ASEAN（同2.3%）を上回る水準に達する。

*** 政府間ハイレベル協議での積極的な評価**
第11回日中韓経済貿易大臣会合（平成28年10月29日、日本・東京）における共同声明において、「環黄海経済・技術交流会議」のこれまでの結果について評価。また、平成30年5月に開催された第7回日中韓サミットにおける共同宣言（平成30年5月9日・東京）の付属書にも記載されている。



○第17回環黄海経済・技術交流会議

〔主催〕九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、大韓民国産業通商資源部、中華人民共和国商務部

- 2018年11月19日～21日、韓国全羅北道群山市において、韓国産業通商資源部、中国商務部と連携・協力して、九州・韓国・中国の環黄海地域における産学官プラットフォームである「環黄海経済・技術交流会議」を開催。
- 前回の鹿児島会合に引き続き、「地域間交流の促進」と「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」による「環黄海地域の経済交流モデルの構築」をテーマに、九州・韓国・中国の環黄海地域における経済交流促進を協議。「環黄海会議本会議」のほか、「環黄海ビジネスフォーラム」、「産業団地・特区協力フォーラム」などの事業を実施。
- 九州からは、「九州経済国際化推進機構」メンバーの他、企業、団体などから71名が参加し、韓国からは産業通商資源部 盧 建基(ノ コンギ) 通商協力局長はじめ108名、中国からは商務部 楊 偉群(ヤン ウエイチュン) アジア司副司長はじめ133名が参加(参加総数312名)。(※韓国、中国の参加者数は登録者数)
- 本会議では、環黄海ビジネスフォーラム等の各事業の総括、各国からの提案発表にあわせ、九州側が提案し三国合意のもと、第14回会合にて創設された「環黄海経済・技術交流大賞」の第4回目となる表彰式を実施。三国間のより一層の経済貿易関係を強化・構築していくため、この環黄海会議という地域間交流の産学官プラットフォームも活用し、引き続き、経済技術交流を推進していくことが重要であるということを確認。
- なお、2019年の次回開催地は、中国・山東省済寧市に決定。



○第25回九州・韓国経済交流会議

〔主催〕九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター
大韓民国産業通商資源部、(社)韓日経済協会、(財)韓日産業・技術協力財団

〔協力〕(一財)日韓産業技術協力財団、(一社)九州日韓経済交流会

- 第25回九州・韓国経済交流会議を開催。11月19日に政府・経済団体による、「日韓共通の課題～グローバル人材活用～」をテーマとした九韓会議本会議を開催。また、11月20日には、初めての試みとなる韓国人材と九州企業の人材マッチング事業を実施(九州9社、韓国人学生12人、面談41件)。

第17回環黄海経済・技術交流会議／第25回九州・韓国経済交流会議 全体日程

(日程) 2018年11月19日(月)～11月21日(水)

(場所) 韓国全羅北道群山市(ベストウエスタンホテル群山(BW)、セマングムコンベンションセンター(GSCO))

	11月19日(月)	11月20日(火)	11月21日(水)	
午前	<p>8:00-8:30 結団式@福岡空港 待合室</p> <p>10:30 福岡空港 ↓ KE788 12:00 仁川空港</p>	<p>9:30-11:30 環黄海ビジネス フォーラム I @GSCO 1階 コンベンション ホール1</p> <p>9:30-12:15 環黄海 産業団地 特区協力 フォーラム I @GSCO 1階 101号室</p> <p>9:50-12:50 三国政府間 局長会議 @BW 1階 Lily</p> <p>9:30-11:50 九韓人材 マッチング I @GSCO Exhibition Hall</p> <p>9:30-14:30 日韓防災 機器・用品 商談会 IN 韓国・群山 @GSCO 201号室</p>	<p>11:30- 昼食交流会 @GSCO1階コンベンションホール2</p> <p>12:50- 昼食 (関係者) @BW1階 Lily</p>	<p>産業視察 ・セマングム産 業団地説明 ・東レ先尖素材 (株) 群山工場 ・三養 INNOCHEM(株) 群山工場</p>
午後	<p>バス移動(専用バス) ↓ ホテルチェックイン</p> <p>16:30-18:15 九州韓国経済 交流会議 (九韓会議) @BW1階 Lily</p> <p>19:00-21:00 VIP晩餐会 @BW 3階 Rose</p> <p>18:00-19:30 夕食会 @GSCO1階 コンベン ションホール2</p>	<p>12:30-13:30 環黄海ビジネス フォーラム II @GSCO 1階 コンベンション ホール1</p> <p>13:15-14:45 環黄海 産業団地 特区協力 フォーラム II @GSCO1階 101号室</p> <p>15:00-18:20 環黄海経済・技術交流会議 本会議 @GSCO 1階 コンベンションホール1</p> <p>18:30-20:30 開催地レセプション(全羅北道主催の歓迎晩餐会) @GSCO 1階 コンベンションホール2</p> <p>13:00-17:50 九韓人材 マッチング II @GSCO Exhibition Hall</p>	<p>12:50- 昼食 (関係者) @BW1階 Lily</p> <p>13:00-17:50 九韓人材 マッチング II @GSCO Exhibition Hall</p>	<p>昼食 (群山市内)</p> <p>バス移動 (専用バス) ↓</p> <p>18:40 仁川空港 ↓ KE781 19:55 福岡空港</p>

- 平成24年6月の九州経済連合会と台湾工商協進会とのMOU締結以降、台湾との経済交流が活発化。
- 平成30年度は、「九州・台湾経済交流ミッション2018」を派遣し、台湾工商協進会などの台湾経済団体や現地支援機関とのネットワークを活用し、九州と台湾との経済交流の深化を図り、日台アライアンスの実現など具体的なビジネスへの展開を支援。

【ミッション団概要】

(日時) 平成30年8月29日(水)～31日(金)
(主催) 九州経済国際化推進機構、(一社)九州経済連合会、台湾工商協進会、
(公財)日本台湾交流協会
(訪問団) 団 長:九州経済国際化推進機構 幹事長 (九経連 専務)
副団長:九州経済国際化推進機構 参与 (九経局 国際部長)
構成員:自治体、支援機関、企業 など**41名**

経済交流セミナー

日 時: 8月30日(木)13:30～16:30
主 催: 台湾工商協進会、(一社)九州経済連合会、九州経済国際化推進機構、
(公財)日本台湾交流協会
参加人数: 101人(九州側 41人 台湾側 60人)
内 容:
【テーマ】日台連携モデルの提案や五大イノベーション計画及び循環型経済について
＜基調講演＞
台湾側:「新南向政策的最新進展」
講演者 台湾行政院 経貿談判辦公室 辦公室執行秘書 蕭 振榮 氏
日本側:「台湾の経済動向と日台でのビジネス協力の可能性」
講演者 台湾野村總研諮詢顧問股份有限公司 總監 伊豆 陸 氏
＜事例発表＞



九州側:九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP) 統括マネージャー 嶋田 駿一 氏
(一社)ジャパン・コスメティックセンター コーディネータ 西島 俊太郎 氏
九州ヘルスケア産業推進協議会 コーディネータ 寺田 孝英 氏
前SONY台湾董事長(熊本県一台湾 半導体関連産業交流コーディネータ) 荒牧 直樹 氏
台湾側:台日産業連携推進オフィス(TJPO) 副執行長 翁 建一 博士
大豊機器 董事 黃 立翰 氏
節能屋能源科技股份有限公司 董事長 楊 明坤 氏

商談会

日時: 8月30日(木)16:40～18:15
成果: 参加企業:九州側:9社、台湾側:14社
商談件数 27件
成約見込件数: 1件
文書締結件数: 2件
継続件数 : 20件



表敬訪問

- ①台湾工商協進会 范良棟 秘書長表敬
- ②台湾行政院 経貿談判辦公室
蕭 振榮 辦公室執行秘書表敬
- ③日本台湾交流協会 台北事務所
横田光弘 副代表表敬
- ④TJPO 葉武松 顧問表敬
- ⑤三三会 鄭世松 顧問表敬
- ⑥TAITRA本部 王熙蒙 副秘書長表敬

産業視察

日時: 8月31日 10:00～12:00
視察先: 新竹サイエンスパーク
概要: 台湾のシリコンバレーとも呼ばれる台湾初のサイエンスパーク



- 機構とベトナム計画投資省との間で締結した経済交流に関するMOU（平成21年2月締結）の締結10周年を記念し、平成30年9月10日（月）「ベトナム投資環境フォーラムin九州」を開催。
- ベトナム計画投資省からヴ・ダイ・タン副大臣を招聘し、同省関係者からベトナムの投資環境について最新情報を提供いただいたほか、日本向けの人材育成を手掛けるベトナムの人材育成機関（ESUHAI Co.,LTD.）の取組や九州地域企業の進出事例(株プラッツ)を紹介。115名の参加を得て、ベトナムに対する九州地域のプレゼンス向上、九州地域企業のベトナム展開の促進、両地域の経済交流の拡大・深化に向けた取組を進めた。

名称 ベトナム投資環境フォーラム in 九州
 日時 平成30年9月10日(月)10:00～12:00
 場所 ホテルニューオータニ博多(福岡県福岡市)
 主催 ベトナム社会主義共和国計画投資省、九州経済国際化推進機構、日本アセアンセンター、(一社)九州経済連合会、九州経済産業局、(一財)九州地域産業活性化センター
 後援 在福岡ベトナム総領事館、福岡県、九州ベトナム友好協会、(独)日本貿易振興機構福岡、(独)国際協力機構九州センター、(独)中小企業基盤整備機構九州本部
 参加費 無料
 出席者 115名



- 〔ベトナム側の主な出席者〕
- ヴ・ダイ・タン 計画投資省副大臣
 - ヴ・ヴァン・チュン 計画投資省外国投資庁・副長官
 - グエン・イエン・ハイ 経済対外局・副局長
 - トラン・バン・ゴット 工業経済局・副局長
 - ブイ・クアン・ブ 経済地区管理局・副局長
 - グエン・フォン・ホン 在福岡ベトナム総領事館・総領事



タン副大臣



MOU10周年記念品交換

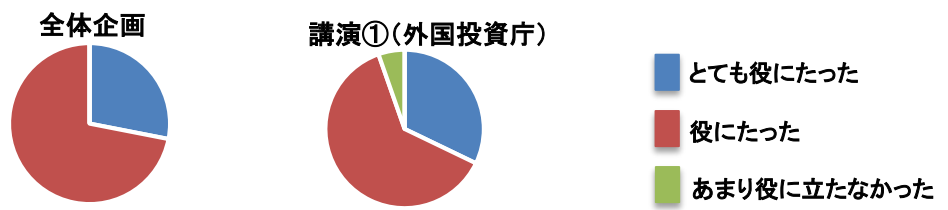


関係者記念撮影

プログラム

- 10:00 主催者挨拶 ベトナム計画投資省 副大臣 ヴ・ダイ・タン副大臣
- 10:05 主催者挨拶 九州経済国際化推進機構 会長 麻生 泰
- 10:10 主催者挨拶 日本アセアンセンター 事務総長 藤田 正孝
- 10:15 来賓ご紹介(在福岡ベトナム総領事館 ホン総領事)
- 10:20 講演① ベトナム計画投資省外国投資庁 ヴ・ヴァン・チュン副長官
「ベトナム最新投資環境のご紹介」
- 10:50 講演② Esuhai Co., Ltd. 清水社長補佐兼KAIZEN吉田スクール副校長
「ベトナム人材活用の成功のポイント」
- 11:20 講演③ 株式会社プラッツ 近藤取締役管理統括部長
「株式会社プラッツ ベトナムでの取組み」
- 11:40 MOU締結10周年記念 記念品交換

アンケート結果



ベトナムについて関心のあるテーマ、分野

- ・北部・南部・中部の経済面での比較
- ・農業、環境、ライフサイエンス
- ・化学工業分野
- ・観光交流の拡大
- ・IT分野
- ・人材育成・介護人材受入れ
- ・設備投資
- ・JVなど設立手順と注意点
- ・ベトナム人材の活用
- ・ベトナム国内の決済手段

- 機構では、ベトナムとの経済交流事業の一環として、2018年11月5日(月)にベトナム社会主義共和国外務省、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、(一財)九州産業技術センター等が主催する「ベトナム4省によるPRセミナー」を共催。
- 第1部では、ハウザン省、ダクラク省、ハザン省、ラムドン省の人民委員長等が、ベトナム各地方における投資環境等についてPR。第2部では、K-RIP会員企業3社が、ベトナム地方政府や企業に対して環境分野での連携提案を説明。また、九州・ベトナム農業ビジネスミッション(2018年12月)参加企業と各地方政府との情報交換を実施。

名称 ベトナム4省によるPRセミナー

日時 2018年11月5日(月)14:00~18:00

場所 電気ビル共創館カンファレンス(福岡県)

主催 [第1部]ベトナム社会主義共和国外務省、
在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館
[第2部](一財)九州産業技術センター、
九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)

共催 九州経済国際化推進機構

ベトナム側出席者

出席者 約120名(ベトナム側44名)

ベトナム側ミッション団

ベトナム外務省地方対外局 ゲエン ホアン ロン 局長
ハウザン省 ルー バン フン 省共産党書記
ダクラク省 ブイ ホン クエイ 人民委員会総務局長
ハザン省 ゲエン ミン ティエン 人民委員会常務副委員長
ラムドン省 ゲエン バン イエン 人民委員会常務副委員長
*この他、各省関係者、同行企業等



プログラム

[第1部]

主催者挨拶 在福岡ベトナム総領事館 ゲエン・フォン・ホン 総領事
共催者挨拶 九州経済国際化推進機構 渡部 参与
来賓挨拶 福岡県企画・地域振興部国際局 武濤 局長
ベトナム4都市によるプロモーション
(ハウザン省、ダクラク省、ハザン省、ラムドン省)

ベトナム進出事例 (株)クマト敬和 宮野 代表取締役

[第2部]

主催者挨拶 (一財)九州産業技術センター 成清 常務
K-RIP概要紹介 K-RIP 嶋田 統括マネージャー
九州の環境企業によるプレゼンテーション

○丸和バイオケミカル(株) 加藤 部長

「ベトナムにおける安全作物と高付加価値作物の生産に寄与する資材の提案」

○中島物産(株) 中島 代表取締役社長

「ファインバブルを活用した水産養殖場の環境改善・生産性向上と環境商材(農業・漁業・浄化分野)」

○協和機電工業(株) 小林 海外事業部東南アジア事業代表

「小規模分散型の廃液処理システム・浄水システムによるベトナムの水環境の向上」

※第2部と同時進行で九州・ベトナム農業ビジネスミッション(2018年12月)参加企業と各地方政府との情報交換を実施

セミナーの様子



農業ビジネスミッション関係者との面談



これまで交流の機会が少なかった地方都市の情報を発信
K-RIP会員企業とベトナムミッション団のマッチング機会創出
ベトナム側は来年度以降も継続開催を希望

- これまでの機構の経済交流事業において、ベトナム政府からの要望・要請事項のひとつとして、生産性向上と輸出促進のための農業投資・協力が提示されていたところ。
- 一方九州では、農業経営者が「深刻な人材不足」に直面しており、農業現場においても中国やベトナム等からの技能実習生を受け入れる農家が増加。さらに、九州の農業経営者の中には、技能実習が終わって帰国した技能実習生を核にした海外展開による農業ビジネスの拡大を目指す農家も出始めた。
- これらの動きを踏まえ、九州経済産業局及び九州農業成長産業化連携協議会では2016年から本ミッションを派遣（今回で3回目）。機構としても共催でサポート。

名称 九州・ベトナム農業ビジネスミッション2018
 日時 2018年12月2日(日)～8日(土)
 主催 九州農業成長産業化連携協議会
 共催 九州経済国際化推進機構、JICA九州、JETRO福岡
 後援 中小企業基盤整備機構九州本部

【ミッションの目的】

- ① 海外における農産物栽培を行う農業投資の促進
- ② 農業関連インフラ(農機、IT・IoTシステム、農業資材 等)の輸出促進
- ③ ベトナム政府機関への支援要請
 ※今回は4機関(計画投資省・農業農村開発省・ラムドン省人民委員会・ソンラ省人民委員会)を訪問。
- ④ 農業実態調査
 ※ベトナム農業法人や農業関連企業への訪問等。
- ⑤ 市場調査

【参加企業】

10社(うち農業者・農業法人6社)

【主な成果】

- ・ベトナム現地での試験栽培の検討
- ・現地提携パートナー候補とのマッチング
- ・現地から関心が寄せさせた農業関連製品の現地展開の検討 等

【主な訪問先】

ホーチミン市

ホーチミン市内マーケット視察
 (イオンモール、コープマート
 (ベトナム資本の小売最大手)、
 BigC(タイ資本の小売))

ラムドン省

- ①ラムドン省人民委員会
- ②ラムドン省内農業関係企業(6社)

ハノイ市

- ①計画投資省
- ②農業農村開発省
- ③JICAハノイ・JETROハノイ

ソンラ省

- ①ソンラ省人民委員会
- ②ソンラ省内農業関係(5社)



- 九州経済国際化推進機構では、ベトナムとの経済交流事業の一環として、2019年2月27日(水)にベトナム社会主義共和国ダナン市人民委員会が主催する「ダナン市投資促進セミナーin九州」を共催。
- 九州ベトナム経済交流ミッション2018(2018年3月)で、機構事業としてはじめてダナン市を訪問したのがきっかけ。2018年8月には同市が麻生会長を表敬訪問し、本セミナー開催について提案、実現に至ったもの。
- ダナン市人民委員会レー・チュン・チン副委員長をトップとした訪日団が来訪し、ベトナム中部最大の都市であるダナン市の投資環境や優遇制度等の詳細を説明。ダナン市単独での投資促進セミナーにも関わらず、九州各地から30名超が参加。

名称 ダナン市投資促進セミナー in 九州

日時 2019年2月27日(水) 14:00~16:30

場所 電気ビル共創館カンファレンス(福岡県)

主催 ダナン市人民委員会

共催 九州経済国際化推進機構

後援 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、ジェトロ福岡、
国際機関日本アセアンセンター

ダナン市からの主な出席者

レー・チュン・チン人民委員会副委員長

レー・ミン・チュン人民評議会副委員長

グエン・キー・アン投資促進支援委員会副委員長

グエン・ティ・タン・フォン投資計画所副所長

チャン・バン・ビエン ハイテクパーク工業団地管理委員会
副委員長

参加者 34名(ダナン市関係者、講師、事務局を除く)

プログラム

主催者挨拶 ダナン市人民委員会副委員長 レー・チュン・チン 氏

共催者挨拶 九州経済国際化推進機構 参与 渡部 伸仁

来賓挨拶 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 総領事 グエン・ホン・フォン 氏
ベトナム最新投資情報について

(株)VCC 代表取締役社長 齊藤 正之 氏

「ベトナム最新投資環境及び日本側から見るダナン市のメリットとデメリット」

ダナン市紹介プレゼンテーション

ダナン市における投資状況について

ダナン市投資促進支援委員会副委員長 グエン・キー・アン 氏

「ダナン市投資優遇政策及び投資奨励プロジェクトについて」

(株)セルフウィング ベトナム社長 平井 由紀子 氏

「人材育成事業のダナン市進出及び人材確保ならびに定着について」

質疑応答・名刺交換

※セミナー開催前に、歓迎の昼食懇談会、また前日には視察等を実施

チン ダナン市人民委員会副委員長挨拶



アン ダナン市投資促進支援委員会副委員長プレゼン



ダナン市からの来訪メンバー



前日に行った視察(北九州エコタウン)



- 福岡市、九州経済国際化推進機構は、平成29年度にそれぞれ福岡貿易会ミャンマー経済視察団、九州・ミャンマー経済交流ミッション団をミャンマーに派遣。
- 平成30年度は、フォローアップの年と位置付け、現地で得た成果をビジネスにつなげる後押し並びに新たなミャンマービジネス可能性の発掘・探索を目的として、2機関の協力によりセミナーを開催。

■開催概要

日時：平成30年9月6日（木） 14:30～17:00
 会場：電気ビル共創館 カンファレンスA
 参加：112名
 主催：福岡市、福岡市姉妹都市委員会、九州経済国際化推進機構
 共催：福岡貿易会、JETRO福岡、福岡アジアビジネス支援委員会
 後援：JICA九州、福岡商工会議所、中小機構九州本部

■プログラム

- (1) 主催者挨拶
- (2) 講演

第一部 ミャンマー最新ビジネス概況

- ・ジェトロ福岡貿易情報センター
 (前ヤンゴン事務所長) 所長 山岡 寛和
- ・(株)三菱UFJ銀行 国際業務部 部長 阪村 修

第二部 ミッションの総括と今後のビジネスの可能性

- ・本多機工(株) 代表取締役社長 龍造寺 健介
 (福岡市・福岡貿易会ミャンマー経済視察団 団長)
- ・(一社)九州経済連合会 会長 麻生 泰
 (機構ミッション 団長)
- ・(有)THANX 代表取締役 江島 勝
 (機構ミッション 団員)

- (3) 名刺・情報交換会



セミナーの感想

n=63

役に立った	39
まあ役に立った	13
普通	3
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
未回答	8

- ・実際に現地でパートナーをつくり、事業を開始している企業様の話を聞けた
- ・ミャンマー経済の実態を改めて知ることが出来た
- ・JETROからのマクロな視点とTHANX様からのミクロな視点から見た海外展開を知ることができた
- ・第二部の話は具体的でイメージがわいた。

- 九州経済国際化推進機構は、ミャンマー政府高官による最新の投資環境情報の提供・発信並びに九州企業のミャンマービジネス事例紹介を通じてミャンマーのビジネス環境や機会への理解を深めることにより、九州・ミャンマー間経済交流の促進を図ることを目的として日本アセアンセンターと連携して本フォーラムを開催。

■開催概要

日時：平成31年2月14日（木）14:00～17:00

会場：ニューオータニ博多 4階 飛翔

参加者：90名

主催：国際機関日本アセアンセンター、
ミャンマー連邦共和国大使館、投資・対外経済関係省、商業省、
ティアワSEZ管理委員会、（独）国際協力機構(JICA)、
九州経済国際化推進機構、
九州経済産業局、（一社）九州経済連合会
後援：福岡市、JETRO福岡貿易情報センター
（独）中小機構九州本部、（公社）福岡貿易会



プログラム

(1)主催者挨拶 九州経済産業局 局長 塩田 康一

(2)来賓挨拶 福岡市 副市長 貞刈 厚仁

(3)基調講演 在日ミャンマー連邦共和国大使館駐日大使
トゥレイン タン ジン

(4)講演

投資・対外経済関係省 投資企業管理局 (DICA)

局長 アウン ナイン ウー

西田精麦株式会社 新規事業推進室 室長 長根 寿陽

ティアワ経済特別区(SEZ)管理委員会 副委員長 ニラ チョー

同 管理委員会 運営支援アドバイザー 松井 洋一

(5)閉会挨拶 日本アセアンセンター 事務総長 藤田 正孝

アンケート結果:参加者数90名、アンケート回収32枚

本日のフォーラムについて

役に立った	20
まあ役に立った	9
普通	1
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
未回答	2

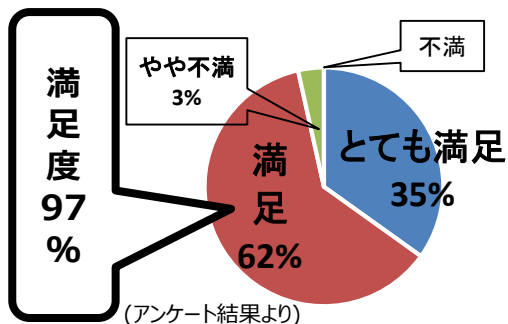
自由記入欄

- ・投資環境の变革を知ることができた
 - ・ミャンマーの現状を知ることが出来、尚且つ九州の企業でミャンマーで活躍する企業の話が直接聞けた
 - ・現場の生の情報・状況が吸収できる貴重な時間となった
- 等

(2) 海外ビジネス・経済情報提供事業 ◆海外展開支援施策説明会 & 無料相談会

- 平成30年7月～9月、平成31年2月『海外展開支援施策説明会 & 無料相談会』を開催し、知財・人材等の海外展開支援施策の紹介、専門家による講演、企業の事例紹介、個別相談を実施。
- 県庁所在地に加えて、地方都市（久留米市、八代市）においても開催。
- 大分会場では、ラグビーWC 2019開催に向け、インバウンド需要の取り込みを目指すべく、自治体と支援機関の意見交換会を実施。
- 鹿児島会場では「うんまか鹿児島輸出商談会2018」と併催。佐賀会場では「中国華南地区商談・視察ミッション」の事前勉強会と位置付けて、深圳の専門家講演を実施。
- 長崎会場、福岡会場（2回目）では、支援施策を活用した企業と事務局との掛け合いで進行する座談会を実施し、参加者へ「支援施策を活用して海外展開をする」ということを具体的事例を交えて発信。

本日の説明会についてお聞かせください



海外展開支援施策説明会日程/参加者数

開催日	7/27	8/29	9/6	9/7	9/20	2/7	2/8	2/27
開催地	福岡 (久留米)	大分	鹿児島	宮崎	熊本 (八代)	長崎	佐賀	福岡 (2回目)
参加者	24人	25人	25人	22人	14人	28人	46人	31人

アンケート結果による参加者の声

- ・深圳についての専門家講演は、とても参考になりました（福岡）
- ・海外展開を担当して間もないので、大変勉強になりました。社内の関係部署にも情報共有したい（鹿児島）
- ・中小企業基盤整備機構さんのサービスを活用してみようと思う（鹿児島）
- ・支援機関同士の連携による事例があれば、今後取り上げてほしい（宮崎）
- ・ものづくり（特に半導体、装置、電子部品、医工連携など）にシブったマッチング商談会情報が知りたい（熊本）
- ・海外展開におけるリスク事例・対応（対パートナーの信頼性や貿易に関する起爆事例等）を知りたい（長崎）
- ・内容が重複しているコマが多かったので、できれば更にコンパクトにしていだければと思います（長崎）



- 在福岡アメリカ領事館と連携し、シリコンバレーのベンチャーキャピタリストのアニス・ウツザマン氏による「イノベーションの聖地シリコンバレーのVCが見極める世界最先端テクノロジー 日本企業の課題と取るべきアクション」をテーマとして、長崎市、佐賀市、福岡県飯塚市の3都市で開催。
- 企業経営者や起業に関心をもった大学生・高校生等3会場で計600名が参加。

■開催概要

<長崎会場>

日時：6月18日(月) 14:00~16:00
主催：在福岡米国領事館、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、長崎県
会場：長崎県庁1階協働エリア
参加：90名

<佐賀会場>

日時：6月19日(火) 14:30~16:30
主催：在福岡米国領事館、九州経済産業局、(一社)九州経済連合会、九州経済国際化推進機構、佐賀県
会場：グランデはがくれ 1階「ハーモニーホール」
参加：150名

<飯塚会場>

日時：6月20日(水) 15:00~17:00
主催：在福岡米国領事館、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、飯塚市
会場：九州工業大学情報工学部 500人講義室
参加：350名

■プログラム

開会/主催者挨拶
ウツザマン氏講演
質疑応答
閉会



Fenox Venture Capital 共同代表パートナー&CEO アニス・ウツザマン氏



質疑応答の様子



セミナーの様子

(3)海外販路開拓支援事業 ◆九州フェア 《新規》

- 日EU・EPAの発効を見据えて、EU市場への九州産品の販路開拓を目指す事業。
- 7月2日、フランス共和国パリ市において、九州地域戦略会議、九州観光推進機構は、ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた「九州プロモーション」の一環として「合同レセプション」を開催。
- 九州フェアは、本レセプションの併催事業として、現地政府機関やラグビー関係者、インポーター、メディア等の招待者に対し、酒類や茶類、銘菓等九州産品のPR（試飲・試食含む）を実施。

◆九州フェア

※「九州合同プロモーション in France 合同レセプション」の共催事業として実施

- 日時：平成30年7月2日（月）18：30～20：00
- 会場：パビリオン ルドワイヤン（フランス共和国パリ市）
- 主催：九州経済国際化推進機構
- 参加者：70名程度（木寺全権大使、仏政府関係者、仏ラグビー連盟、メディア等）
- 出品：酒類(21種)、茶(6種)、オードブル用九州食材、銘菓、博多ラーメン ほか
- 評価
 - * 日本酒（特に、純米系）については、「フルーティだ」、「フレンチに合う」など高く評価。
 - * 焼酎は、ロックや水割りで提供。麦焼酎や黒糖焼酎には「とても飲みやすい」などの評価があったが、総じて、認知度が低く、話を聞くだけにとどめる参加者もみられた。
 - * お茶は、6品をすべて飲み比べする者がいるなど、高い関心が伺えた。



招待者との集合写真

【清酒11品】

県	会社名	品名
福岡	若竹屋酒造	大吟醸 饗
福岡	若波酒造	TYPE FY-2 純米吟醸
福岡	喜多屋	純米吟醸 蒼田(限定酒)
佐賀	窓乃梅酒造	純米吟醸 窓乃梅 (明治維新150年記念ラベル)
佐賀	馬場酒造場	能古見 純米吟醸 雄町
長崎	福田酒造	長崎美人
熊本	花の香酒造	花の香 桜花
熊本	亀萬酒造	萬坊
大分	宣島酒造	西の関 千三百年の祈り
大分	八鹿酒造	八鹿 純米大吟醸(金)
大分	中野酒造	ちえびじん 純米酒

【焼酎・リキュール10品】

県	会社名	品名
佐賀	鳴滝酒造	日本酒仕立乃梅酒 太閤梅
長崎	壱岐の蔵 酒造	壱岐の島
長崎	壱岐の蔵 酒造	ゆずリキュール
熊本	織月酒造	川辺
大分	三和酒類	iichikoスペシャル
宮崎	正春酒造	逢初(あいそめ)
宮崎	神楽酒造	欧州天孫降臨
鹿児島	濱田酒造	海童祝いの赤
鹿児島	大口酒造	黒伊佐錦
鹿児島	奄美大島にしかわ酒造	帝

【お茶6品】

県	会社名	品名
福岡	八女茶	伝統本玉露
佐賀	徳永製茶	嬉野茶
長崎	尾上製茶	そのぎ茶(水出し茶)
大分	高橋製茶	有機緑茶ゆずブレンド
宮崎	JA高千穂	釜炒り茶
鹿児島	池田製茶	さつまやぶきた華



写真左：九州7県が出品した酒類
写真右：酒類を試飲する招待客

(3)海外販路開拓支援事業 ◆EUマンス、バイヤー招聘等支援事業（事前協議）

- EUマンス及びバイヤー招聘等支援事業に向けて、6月28日～7月5日、パリの有名レストラン等で飲料の調達権を持つトップソムリエやインポーターを訪問。その他、フランス市場での日本の酒類や食材の現状等について、専門家との情報交換を実施。
- 面談したソムリエ等は、九州訪問を希望するなど、日本の酒類や食材に高い関心がある。

◆主な訪問先とコメント

1) Kura Master協会 運営委員長 宮川 圭一郎氏（日本酒コンクール実施団体）

- ・当協会は、日本酒の「量」ではなく「格」を広めることに注力。パリで日本酒を広めるには、品評会が最適。
- ・審査員をすべてフランス人とする事で、フランス人が客に日本酒を語り、日本酒の普及に繋がっている。
- ・招聘事業は我々にとってもありがたい。九州には可能性を感じる。2年連続の最高賞受賞には理由があるはず。

2) ソムリエ、ジャーナリスト ※ジャパン・エクスキーズ社 代表 ルイ・ロブション氏が同席

- ①ザカリー・ビュイス氏（ピエールガニエール・ガヤ ヘッドソムリエ）、②ジョナタン・ベラセイン氏（チエズキャスト ヘッドソムリエ）
- ③オレニアン・ジルアリニカン氏（ラ・レゼルブ 飲料部長）、④ピエール・カレス・ガンディホン氏（デュカス・パリ 統括ソムリエ）
- ⑤テディ・ギロット氏（アレノ・パリ ゼネラルマネージャー）、⑥メラミー・シェリー氏（ラトリエ・ジョエルロブション・イトワール 料理長）
- ⑦アレクサンダー・ヴィンタイ氏（バー専門誌ランポーター ジャーナリスト）

<コメント総括>

- ・フレンチも今や「ダシ」を使用する店が主流であり、飲料も、日本の酒類は複数種そろえている。日本への訪問は、時間と予算があれば強く希望。

3) UMAMI社 社長 ジャン・ベガン氏（日本食材の卸・小売店）

- ・平成31年3月に幕張で開催されるFOODEXに参加申込中。参加が実現できれば、九州の産地訪問を希望。
- ・酒類やお茶のほか、しいたけや手延べそうめん、みそなども関心を持っている。近い将来、酒部門の拡充計画がある。

4) KIOKO食品 社長 藤本 浩次郎氏（日本食材の卸・小売店）

- ・招聘事業は理解できるが、日本酒類の拡大のポイントは、「価格」と「拡販」。
- ・商社と酒蔵とによる地道な店舗への個別営業以外の方法は見当たらない。日本の酒類の流通拡大には、EUでの日本料理店の増加を期待する。

5) FOODEX社 CFO 中沢 浩一氏（宝酒造グループ。フランス最大の日本食材輸入卸会社）

- ・日本酒普及の課題は、①容器（原料、形状）②賞味期限（流通）③表示（仏、ベルギー、スイス語の3か国語）、④営業マンの語学力（仏語）
- ・フランスは日本以上に「有機」に敏感。飲料・食材は、添加物を嫌う。フランス進出には「有機」と「無添加」がキーワード。

6) 相原 由美子氏（JETROパリ コーディネータ。パリで25年間食文化ジャーナリストとして活動中）

- ・日本酒や焼酎は、多様な使われ方が考えられる。日本酒はパティシエとのマリアージュ（瀬祭ロブションは酒ケーキを商品化）、焼酎はチーズとのコラボなど。
- ・九州の酒や食材の拡販には、パリで活躍する九州の職人の活用もよい。九州の調理師学校を卒業した者も多く、その卒業校も事業に組み入れると良い。

(3)海外販路開拓支援事業 ◆EUマンス (Kura Master招聘) ①《新規》

- 7月に実施した事前調査を踏まえ、パリ市内の5つ星ホテルに属するトップソムリエを擁し、日本の酒類のフランスでの普及に取り組むパリ市公認団体「Kura Master」を招聘。
- 平成31年1月19日～20日、福岡国税局、熊本国税局、九州経済産業局、日本酒造組合中央会北九州支部・南九州支部と連携し、九州産酒類の販路開拓及び九州とフランスとの相互理解を図るためのセミナーや交流会、酒蔵の視察・意見交換を実施。

※Kura Masterとは、フランスで2017年から日本酒のコンクールを行うパリ市公認協会。

◆Kura Master 参加者 (8名. 敬称略)

- | | |
|---|--|
| ① グザビエ・チュイザ [ホテル・クリヨン シェフ ソムリエ] | ⑤ エリック・ゴールドマン [ロウゾーグループ ディレクター ソムリエ] |
| ② ベルナール・ヌヴェ [ホテル・ブリストル・パリ ディレクター ソムリエ] | ⑥ ソフィア・ラファイエ [ジャーナリスト] |
| ③ ケヴィン・ルモニエ [ホテル・プラザ・アテネ アラン・デュカス ソムリエ] | ⑦ Kura Master 運営委員長 宮川 圭一郎 |
| ④ バティスト・ゴティエ [グループ ピック シェフ ソムリエ] | ⑧ Kura Master 広報渉外責任者 ペコン 倫子 |

◆事業概要 ●1月19日(土) ※会場：タカラホテル福岡(福岡市中央区)

事業名	概要
九州酒文化のプレゼンテーション	<p>●Kura Master に対し、九州産酒類の特徴や歴史・文化について紹介</p> <p>①北九州地域の説明 (株)喜多屋 木下 宏太郎 代表取締役社長 ・北部九州地域の水質・米・食・観光文化の特徴と酒造り、日本酒と焼酎が並行して作られている日本で唯一の地域であることを紹介。</p> <p>②南九州地域の説明 濱田酒造(株) 濱田 雄一郎 代表取締役 ・芋、米、麦、そば、黒糖の5種類の焼酎の特徴や焼酎の製造・貯蔵方法、飲み方、南九州の食との親和性を紹介</p>
EU販路開拓セミナーin九州	<p>●日・EU EPA発効を控え、九州産酒類をEU市場への認知向上や販路開拓のポイントなどについてKura Masterが講演</p> <p>①Kura Master 運営委員長 宮川圭一郎 氏 テーマ「フランスの酒類市場における過去、未来、そして今、私達は何をすればよいのか」</p> <p>②Kura Master 審査委員長 グザビエ・チュイザ氏 ほかソムリエ4名 テーマ「Kura Master の取組とソムリエが感じる日本の食と酒について」</p>



Kura Master 一同



濱田氏 プレゼン風景



Kura Master 審査委員長
グザビエ・チュイザ氏(左)

(3)海外販路開拓支援事業 ◆EUマンス (Kura Master招聘) ②《新規》

◆事業概要 ● 1月19日 (土) ※会場：タクラホテル福岡 (福岡市中央区)

Kura Master との交流会

● Kura Masterによる九州産酒類のテイasting、九州7県酒造組合、九州在住のソムリエ等との懇談を実施。
 Kura Masterのソムリエとの酒類の味わいや香りなどについての評価や九州の魅力に関する活発な交流が行われた。
 参加者:Kura Master7名、九州7県酒造組合19名、日本ソムリエ協会会員7名、九州経済国際化推進機構構成機関3名、国税局1名、九州経済産業局2名の計39名

交流会で提供された酒類

菊美人 大吟醸	菊美人酒造(株)
純米大吟醸 喜多屋 燦燦	株喜多屋
純米大吟醸 喜多屋 蒼田 山麩仕込	
純米大吟醸 閑叟	窓乃梅酒造(株)
聚楽太閤 純米スパークリング	鳴滝酒造(株)
日本酒仕立乃梅酒 太閤梅	
特別純米酒 水の光彩	潜龍酒造(株)

六十餘洲 純米吟醸 山田錦	今里酒造(株)
六十餘洲 純米 山田錦	
純米酒 朱盃	千代の園酒造(株)
純米大吟醸 朱盃	
純米吟醸 蝉	通潤酒造(株)
八鹿 にごり酒	八鹿酒造(株)
八鹿 スパークリング Niji	

純米大吟醸 一の井手	株久家本店
麦焼酎 常蔵 Breeze	
そば雲海	雲海酒造(株)
河童の誘い水	京屋酒造(株)
だいやめ ~DAIYAME~	濱田酒造(株)
奄美 瑠璃色の空	天川酒造(株)

(その他、酒造組合員5社より10酒類の提供あり)

【Kura Master の声】

- すぐにも私の店で取り扱いたいお酒があった。
- 出品の酒は全酒一斉の温度管理であったが、自社で氷を持参してでも最高の状態に出さなければいけない。
- テイastingは酒の種類により飲む順番が決まっている。県別ではなく「弱い酒→強い酒」の順で並べてほしい。
- お酒は食事とのペアリングも重要。特に、自社の酒が何の食事とマッチするのかを把握することが大事。
- 焼酎は割らずにストレートで味あわせてほしい。

【参加者の声】

- どんなお酒についてもネガティブな発言はせず、様々な可能性やペアリングの提案を細かくしてくれた。
- 非常に高い評価をしてもらい、今後にも繋がらそうだ。
- 「ヤギのチーズと合う」と言われ、日本人にはない感覚を持っていると感じた。
- Kura Master のみなさまから直接意見を聞いて勇気を持てた。
- 色々な料理と自社の梅酒のマリアージュを何度も試していただき、アドバイスを貰えたことで、自信につながった。
- ラベルや箱についてソムリエに相談したところ、太鼓判を押してもらえた。
- ソムリエによって意見が分かれることもあるとわかった。正直なコメントは参考になる。



◆事業概要 ● 1月20日 (日) ※訪問先：大分県内

酒蔵 視察・意見交換

Kura Master2018にて「プレジデント賞(最優秀賞)」を受賞した有限会社中野酒造 (大分県杵築市) 及び「にごり部門特別賞」を受賞した八鹿酒造株式会社 (大分県九重町) を訪問。酒蔵2社の醸造工程、会社の歴史を学ぶとともに、商品のテイastingを行った。

(3)海外販路開拓支援事業 ◆EUマンス、バイヤー招聘等支援事業（フォローアップ及び事前協議）

- 2019年2月に機構事務局がフランス・パリを訪問。Kura Masterとの本年1月に実施した招聘事業のフォローアップ及び次年度の取組の協議、本年3月に招聘したトップシェフやソムリエとの打合せ、九州と本格焼酎のPR、JETROパリ事務所との意見交換等を行った。
- 特に、Kura Masterは、機構事業に対する期待が高く、次年度も連携して取組を進めていくこととした。

◆主な訪問先とコメント

1) Kura Master協会 審査委員長 グザビエ・チュイザ氏、運営委員長 宮川 圭一郎氏、広報渉外責任者 ペコン倫子氏

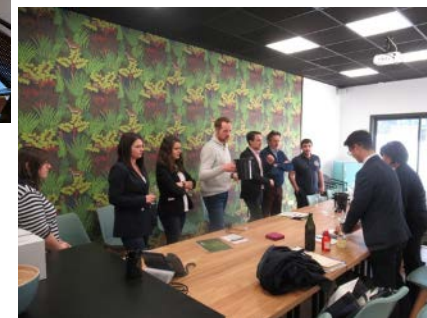
- ・1月の訪日の際は素晴らしい九州に行くことができて良かった。改めて、九州の関係者に感謝を伝えてほしい。
- ・本格焼酎には今後の市場拡大の可能性を感じている。
- ・協会の他のソムリエにも、本格焼酎のことを知ってほしいのでパリでセミナーを行うことはどうか。また、九州訪問が実現した場合には、一日かけて本格焼酎のコンクールを行うことはどうか。
- ・酒類をフランスで普及するためには、言葉にして伝えないといけない。それを唯一できるのがソムリエ。
- ・九州訪問には、新しいソムリエ、優秀なソムリエを集めて伺いたい。



【Kura Masterとの協議（左写真）】

2) Armonia社 Mr. Victor P. GOMEZ氏に対する「九州と本格焼酎」のPRとテイスティングの実施

- ・同社は、リヨン市に所在し、ヨーロッパでワインやスピリッツを対象とした10のコンクールを運営する民間企業。
- ・同社の特徴は、ITを駆使してコンクールを運営しており、公的機関による運営が大半であるコンクールの運営形態とは異なり、先進的だと自負している。知られていないワインやスピリッツを世界に広めたい。
- ・本格焼酎は、フランス国内では認知されていない。コンクールの存在を通じて、ワインが日本に広まったように、焼酎も広まっていてもらいたい。
- ・米焼酎、麦焼酎、芋焼酎のテイスティングの感想：（このフルーツの香りがする）芋焼酎はとても良い。香りが長く残る。米焼酎もまろやかでとても良い。



【Armonia社でのテイスティング】

3) ジェトロ・パリ事務所 宮坂次長、相原コーディネーター、浅見係長

- ・Kura Masterは、フランスでも認知され始めており、審査員になりたいソムリエも増えてきている。
- ・フランスでソムリエの職業は信頼されている。中でも、Kura Masterのグザビエは注目を集めている人物。
- ・日本人がお酒を薦めるとフランス人は他国のものを見る目線になるので広がらない。ソムリエという信頼されたフランス人がフランス人の感覚で薦める点は大きな意味がある。酒関連のPRイベントなどは全てソムリエを使ってすべき。むしろこれ以上により方法はないと思う。

4) 3月に招聘したシェフ、ソムリエ等を訪問し、事業の説明、九州の紹介、意見交換を実施。※ジャパン・エキスキーーズ・フランス社 Saito氏が同席

- ①Melanie Serre氏（L'Atelier de Joël Robuchon-Etoile・前料理長）、②Bertrand Guillou Valentin氏（レストラン及び業務用酒販店経営）
- ③Jean Baptiste Bosc氏（ALLEN0 PARIS アシスタントヘッドソムリエ）

<コメント総括>

- ・訪日は初めてなのでとても楽しみ（3者ともに）。ダシ等の調味料や酒類はもちろんのこと、何でも吸収したい。日本の食に関わるストーリーを学びたい。

- EU市場への九州食材の販路拡大を目的に、JETRO鹿児島及び宮崎と連携し、福岡市及び九州経済産業局との共催によって、フランスのトップシェフやソムリエ、レストラン経営者等4名を3月16日～18日に招聘。
- 九州の食材や酒類の調達に資する酒蔵や食材事業者の現場視察のほか、同4名の登壇によるフランスにおける日本食の現状や九州の食のEU市場での拡大可能性についてのセミナー（トークセッション）を開催。

1. 「フランスの日本食事情と可能性」トークセッション

- 日時：平成31年3月18日（月）14：30～17：00
- 会場：電気ビル共創館3F（福岡市中央区）
- 主催：九州経済国際化推進機構、福岡アジアビジネス支援委員会（事務局：福岡市）、九州経済産業局
- 参加者：50名
- 登壇者：

<スピーカー>

- ルイ・ロブション氏（Japan Exquisite株式会社，株式会社ルイR代表取締役）
- Melanie Serre氏（ラトリエ・ドゥ・ジョエル・ロブション・エトワール前料理長）
- JEAN-BAPTISTE Bosc氏（ALLEN0 PARIS・ソムリエ）
- Bertrand Guillou Valentin氏（レストラン及び業務用酒販店経営者・ソムリエ）

<モデレーター>

- 西 宏史 氏（福岡フードビジネス協議会会長，西福製茶(株) 代表取締役社長）



■ トークセッションでの被招聘者からの主なメッセージ

- ・ルイ氏：フランスに展開したい商品は「個性」が大事。開発は、日本人のみがイメージする感覚で行うのではなく、EU現地の感覚がある者と一緒に発展させていくことが大事。これまでの伝統を活かした個性的な商品を期待。
- ・Serre氏：今秋にフレンチ専門店を開業しようと思っていたが、日本の食材の素晴らしさに魅せられた。フレンチにこだわらず、店のコンセプトから見直してみたい。フランス人はゼラチン質の食感のモノは慣れていない。
- ・Bosc氏：提供いただいたすべての食材の味覚が発見であり、この発見は今後のソムリエとしての仕事に大いに役立つ。日本酒や焼酎は知ってはいたが、実際に酒造りの学習は、造りの奥深さを感じ、種類の豊富さに驚かされた。
- ・Valentin氏：今回の訪問を活かして生産者やその歴史を商品と一緒に伝えていきたい。商品の説明やラベルは、英語で表記してほしい。商品を取り巻くストーリーのプレゼンも重要。



トークセッション風景

2. 酒蔵視察 *3月17日 (日)

- パリ市内の3星レストラン「ALLENNO PARIS」で提供されている日本酒の製造現場の視察のため、合資会社基山商店（佐賀県基山町）と合資会社若竹屋酒造場（福岡県久留米市）を訪問。
- ワインと日本酒との製造方法を比較しながら、製造工程についての説明を受けた後にテイastingを実施。ソムリエ等被招聘者は、両酒蔵の酒を高く評価し、フランス料理との相性等に関する意見交換を行った。

基山商店



・酒米の洗浄や蒸しを説明する小森専務（右写真）



若竹屋酒造場



・(左写真) 創業320年の歴史について説明する林田社長



【ソムリエ等の主なコメント】

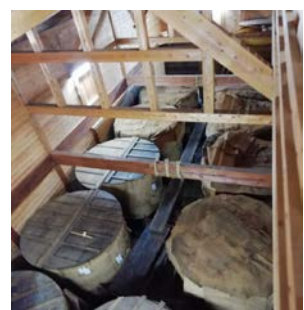
- ・純米大吟醸酒は酸味の後に苦みを感じた。(Bosc氏)
- ・飲む温度により酒の呼び方が異なるのは、大変興味深い。
- ・熟成した古酒は一瞬で疲れを吹き飛ばす素晴らしい味。デザートや葉巻などにも合う。(Valentin氏)

3. (有)九州酢造視察 *3月18日 (月)

- フランスでも人気が高い日本の「酢」。日本で初めて「柿酢」を製造した九州酢造（福岡県粕屋郡粕屋町）。昔ながらの樽仕込みによる醗酵に独自の技術を加える製造方法を開発した同社を訪問。
- 柿酢をはじめ、りんご酢、黒酢、あまおう酢、ブルーベリー酢等を試飲。非常に高評価であり、製造元の発想にはなかった活用方法やマリアージュ（肉料理のソースとして使える、チーズと合う 等）を被招聘者からアドバイスした。



- ・商品概要や木造の蔵造りの理由について説明する案浦 代表取締役（左写真）
- ・熟成中の酢。
- ・商品によって樽での熟成期間が異なる。（右写真）



【シェフ等の主なコメント】

- ・フランスでは一般的には酢をそのまま飲む習慣はない。
- ・肉料理のソースとしても相性が高い。(Serre氏)
- ・スピリッツに混ぜて使うことも香り・味ともに好まれると思う。(Valentin氏)

4. 人材交流

Work in Kyushu 支援事業（九州企業外国人材活用促進事業）

- 九州の企業と留学生をつなぐマッチングサイト「Work in Kyushu」の特徴である、留学生の自己PR動画投稿の活用促進を目的として、外国人留学生を対象に、自己PRの仕方、自己PRの作成、企業への効果的な自己PR（動画）について学ぶ場を提供する。
- 留学生の雰囲気、言語能力などの動画を通じた確認により留学生と企業のミスマッチの軽減、効率的な就職・採用活動につなげるとともに、サイトの利用・普及を促進し、留学生の九州企業への就職及び九州企業の海外展開、インバウンド需要対応にむすびつく人材獲得を支援。

【対象者】九州で学ぶ留学生（大学院、大学、短大、高専及び卒業後、特定活動の在留資格により就職活動を行うもの）

【セミナー内容】

- ・自己PRのポイント、自己PR原稿作成
- ・プロ及び自己によるPR動画撮影実践、サイト登録。

◆留学生向け！就職活動に役立つ自己PRセミナー@宮崎県

開催日：平成30年12月27日（木）

時間：10:00～12:00

場所：宮崎大学附属図書館1階 セミナールーム1

◆留学生向け！就職活動に役立つ自己PRセミナー@福岡県

開催日：平成31年 1月13日（日）

時間：10:30～16:00

場所：アクロス福岡3階 こくさいひろば福岡県留学生サポートセンター

概要：「「求める人材！」と感じさせる表現を学ぶ」と題して、講師（キャリアコンサルタント）から伝わる自己PRについてコンサルティング

- ・学んだ内容をもとに自己PR原稿を作成し、自己PR動画を撮影

九州の留学生と企業をつなぐ人材マッチングサイト
九州で働こう！九州で採用しよう！
Work in Kyushu 検索

就職したい企業がみつかる！

サイトに登録して、ニーズにマッチした留学生・企業と会いましょう！

採用したい留学生がみつかる！

留学生向け <http://blog.kghrpc.org/candidate/>

企業向け <http://blog.kghrpc.org/company/>

九州で働こう！
Work in Kyushu
あなたが学んだまちで、今度は働いてみませんか？

九州
グローバル人材
活用促進協議会
・九州7県
・九州経済産業局
・九州経済連合会
(事務局:福岡県)

5.投資促進

外資系高級ホテル誘致セミナー～外資系高級ホテル誘致に向けたファーストステップ～ 《新規》

- 九州は、ラグビーワールドカップ2019をはじめとする大規模国際スポーツイベントの開催やG20財務相・中央銀行総裁会議等の開催を背景に、インバウンド需要拡大の期待が高まる中、要人や富裕層が宿泊するホテルの不足が指摘されている。
- そこで、機構の「九州における対日投資可能性調査事業」により、高級ホテル等インバウンド受入環境をターゲットとし、自治体や土地所有者をはじめとする外資系高級ホテル誘致を検討中の企業・機関に対して、セミナー形式により、誘致に取り組むにあたってのポイントや対応等について、具体的事例を交えながら紹介、情報提供。
- セミナーでは、九州経済連合会内に外資系高級ホテル誘致サポートのため相談窓口を設置することを発表。

開催概要

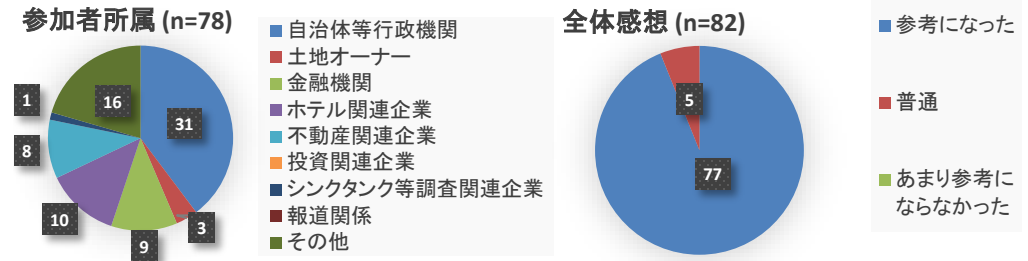
- ・主催：九州経済産業局、九州経済連合会、JETRO福岡、九州経済国際化推進機構
- ・日時：平成30年8月23日（木）13:30～17:00
- ・会場：電気ビル共創館 3階 カンファレンスA
- ・参加：171名

プログラム

- (1) 主催者挨拶
- (2) インバウンド1,000万人時代に向けた九州の戦略
(公財)九州経済調査協会 調査研究部 研究主査 島田 龍
- (3) 外資系高級ホテル誘致に向けたファーストステップ
(一社)観光品質認証協会 統括理事 / (株)日本ホテルアプレイザル 取締役 北村 剛史
- (4) 外資系高級ホテル進出・運営のために必要なこと
～ホテルオペレーターの視点から～
Hilton 上席開発統括本部長 日本・ミクロネシア地区担当 藤本 博久
- (5) 九州における外資系高級ホテル誘致に係る新たな取り組み
九州経済連合会
- (6) 質疑応答
- (7) 講師との名刺交換



【アンケート結果】



【参加者感想(抜粋)】

- ・ホテル誘致、ブランド等に関して現場の第一線で活躍されている方のお話を聞くことができ非常にためになった。
- ・高級ホテルの定義・運営等について奥深い話であり、大変参考になった。
- ・ホテル事業の経営等について基礎的なことからお話を伺う事が出来、勉強になった。
- ・このようなセミナーをもっと開催していただき、福岡、九州を盛り上げていただきたい。
- ・ラグジュアリーホテルとはどんなもので、近年どういった傾向にあるのか大変参考になった。
- ・普段は聞けない外資系ホテルの経営戦略を聞くことが出来た。
- ・九州の経済に大きな影響が有り、まちづくりの観点で今後も注目したい。

九州プロモーション事業 (COUNTDOWN SHOWCASE in 九州) 《新規》

- 九州の魅力（ビジネス環境、観光）を九州内外、国内外へ発信。11月、「COUNTDOWN SHOWCASE in九州」(経済産業省とオリンピック・パラリンピック等経済界協議会が共催する企業合同技術展示会)と一体開催。在福岡領事館総領事、海外旅行客等3日間で約3,000人が来場。
- 第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会in福岡と同時開催。

- ・時期・場所：平成30年11月2日（金）～4日（日）マリンメッセ福岡
- ・主催：経済産業省、九州経済産業局、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会(※)（一社）九州経済連合会、（一財）九州地域産業活性化センター、九州経済国際化推進機構、九州知的財産活用推進協議会
※経団連、日商・東商、経済同友会などで構成。2020年以降のソフト及びハードのレガシー創出に向けて経済界主体の取組を実施
- ・内容：「AIRPORT（入国）」→「TRAFFIC（街中移動）」→「TOURISM（地方観光）」→「SPORTS（競技観戦）」→「REGION（九州の魅力）」の5つのゾーンを設け、一連のストーリーに沿って実機展示、デモンストレーション



機構は、「REGION(九州の魅力)」のゾーンで九州のビジネス環境や観光をプロモーション

出展企業

<p>【九州関係企業】</p> <p>①NTTドコモ九州支社・ドコモCS九州</p> <p>②OVER D-LIVE</p> <p>③Kotozna福岡オフィス</p> <p>④スポーツセンシング・帝人フロンティアセンシング</p> <p>⑤大日本印刷・ミライロ福岡支店</p> <p>⑥ニワカソフト</p> <p>⑦ネクストシステム</p> <p>⑧Huber.別府支店</p> <p>⑨FREE POWER・宮崎交通</p>	<p>【オリンピック・パラリンピック等経済界協議会】</p> <p>①NEC</p> <p>②シャープ</p> <p>③セコム</p> <p>④デンソー</p> <p>⑤トヨタ自動車</p> <p>⑥富士通</p> <p>⑦ブリヂストン</p>
---	---

「第35回 伝統的工芸品月間国民会議 全国大会 in 福岡」にて「COUNTDOWN SHOWCASE in 九州」を開催します！

- 【来場者アンケート自由記入欄】**
- ・思いがけない発想の数々にびっくりした。
 - ・九州に住んでいても知らない魅力が沢山あって面白かった。
 - ・体験できるブースでは、体で技術を感じられて面白かった。
- 等